

## Goto!! 爆風!!岩手山&姫神山

山行日 2020年10月9日～11日

参加者 L二宮 SL種蔵 山崎 ブラウン 山田A 廣谷 青柳(記)

コース 9日(金) 先発隊(二宮、種蔵) 上野15:34=新幹線はやぶさ  
=盛岡17:47 レンタカー手配 ホテルパールシティ盛岡泊  
後発隊(上記以外の5名) 東京20:16=新幹線はやぶさ=盛岡  
22:27 同ホテル泊

10日(土) ホテルパールシティ盛岡5:00=馬返しキャンプ場5:30  
-馬返し登山口5:45-八合目避難小屋9:30/10:00  
-岩手山ほぼ山頂10:52-八合目避難小屋11:30/12:00-  
馬返し登山口15:00=鶯宿温泉 長栄館泊

11日(日) 鶯宿温泉 長栄館7:30=姫神山一本杉園地キャンプ場登山口8:50  
-姫神山10:26/11:02-一本杉園地キャンプ場登山口12:20  
=ユートランド姫神=12:50/13:40=パルクアベニュー等  
=レンタカー返却-盛岡16:50=新幹線はやぶさ=上野18:58

リーダーNさんの綿密な計画の下、旅行代理店のプロYさんの仕切りにより、Goto キャンペーンを利用して、新幹線、レンタカー、温泉でお泊まり、豪華なお食事付きで¥30986という破格のお値段しかも地域振興券¥7000までついてくるという、何とも贅沢な山行になりました。

登山当日朝を迎え、快調に車で岩手山に近づくにつれて、ぴったりの言葉を選ぶなら、”でっかい”山塊!におののき、果たして無事に登って下りて来られるのだろうか、という一抹の不安を抱えておりましたこと、今頃になってご報告いたします。

さて、登山開始、足取りも軽く、0.5合目、とか2.5合目とかやたら細かく刻んである登山道を進みます。途中、陸上自衛隊岩手山演習場から聞こえてくる、ドーン!ドカーン!!という榴弾砲の音にさすが東北、スケールが大きい!、と奥多摩の山との違いを感じつつ、眺望の良い旧道に入りましたが急峻な吹きさらしの岩稜帯です。強風吹きすさぶがれがれの道です。日本に上陸こそしなかったものの、関東の南でUターンなどという技を持った台風の影響をもろに受けまくっています。

やれやれ八合目避難小屋につきました。管理人さんが暖かい薪ストーブをたいて、ぬくぬくと温かい

飲み物を飲んで、ここは天国かな。という錯覚を、頂上に向かう道の強風が、見事に吹き飛ばしてくれました。

書きたかったことは、ここからです。

お鉢にでた途端、強風のランクが5段階上がりました！しかしそれにも負けず、松戸山の会の7人のパーティーは山頂を目指して、踏ん張りながら、耐風姿勢を取りながら、歩みを進めます。

一步、また一步、次の一步、ごーーーーー!!爆風です！お鉢の両側、切れてます！耐風姿勢ではもう無理!!地面に伏せて、這いつくばって、すぐそこ、目の前にある山頂の標識を見つめます。どのパーティーも同じく、全く動けません。飛んでくる砂や小石が容赦なくバンバン顔にあたって口の中にも入りこみます。テレビで台風情報の時、アナウンサーが傘を揺らしながら取材している様子を見ますよね？それより過酷な状況が、その時の岩手山山頂直下では繰り広げられておりました。

しばらくは風が弱まる瞬間を待っていましたが、猛烈な風が吹き続け、リーダーが下山！と指示されました。山頂までの距離95m、標高差18mのところでした。Bさんの帽子、そして手ぬぐいがあっという間にすっ飛んで行った光景が目に焼き付いています。

その夜、気持ちの良い温泉と美味しいお酒とお料理で、話もはずみたいそう癒されました。

翌日は、打って変わって秋の登山日和。姫神山は階段ばかりの、とても体に優しい山でした。ざんげ坂で、すっころんだお方が約2名、山の神様がいらっしゃる??

最後に、計画して下さったリーダー、サブリーダー、ご一緒させて頂いた皆さま、貴重な経験を、ありがとうございました。

